

プレスリリース

平成28年10月25日
東北森林管理局

青森県内国有林における初めての「松くい虫」被害確認について

林野庁東北森林管理局津軽森林管理署管内国有林において、「松くい虫」被害が確認されましたので、別紙のとおりお知らせします。



【問い合わせ先】

○林野庁 東北森林管理局
保全課

野生鳥獣管理指導官 林 孝之
秋田県秋田市中通五丁目9番16号

Tel : 018-836-2024

Fax : 018-836-2028

○津軽森林管理署

総括森林整備官 小笠原

青森県弘前市大字豊田二丁目2-4

TEL : 0172-27-2800

FAX : 0172-27-0733

林野庁

青森県内国有林における初めての「松くい虫」被害確認について

【要旨】

津軽森林管理署管内の深浦町広戸地区の深浦山国有林において、1本の松くい虫被害が確認されましたのでお知らせします。

国有林内において確認された被害木については、津軽森林管理署が処理を行うとともに、周辺地域の監視を強化していきます。

1 確認の経緯等

- (1) 平成28年8月31日、津軽森林管理署職員が深浦町広戸地区の深浦山国有林において葉が赤褐色となっているクロマツ立枯木1本を発見しました。
- (2) 8月31日に当該立枯木1本から材片を採取し、国立研究開発法人森林総合研究所東北支所で分析した結果、松くい虫被害の原因であるマツノザイセンチュウが検出され、「松くい虫」による枯死と判定されました。
なお、このほかに、4月20日から6月29日の間において、クロマツ16本、アカマツ10本、キタゴヨウマツ1本の立枯木計27本から材片を採取し、国立研究開発法人森林総合研究所東北支所で分析しましたが、マツノザイセンチュウは検出されず、陽性反応はありませんでした。また、その後も被害の拡大がないか林野巡視を行いました。立枯木の発生は確認されておられません。
- (3) この周辺地域での被害は、平成27年から深浦町広戸地区及び追良瀬地区の民有地で発生しています。今回確認された深浦町広戸地区の深浦山国有林の松くい虫被害木は、同地区の最も近い被害木から約0.6km地点に位置していますが、現時点では、被害伝播の経路については不明です。

2 今後の対応

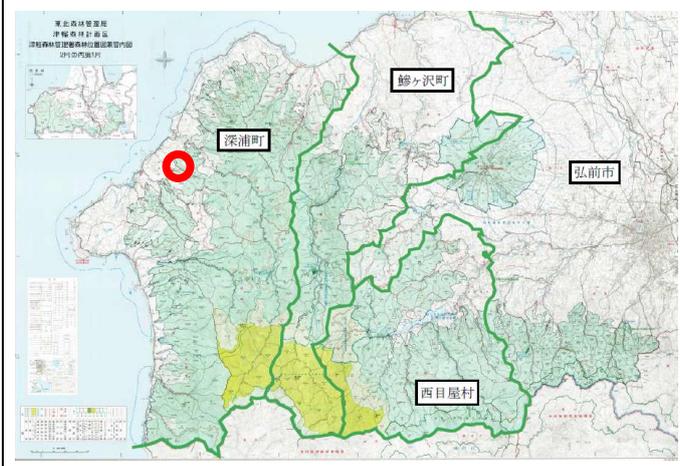
(1) 監視体制の強化

青森県内の国有林では初めて被害が確認されたことから職員による地上からの巡視を強化します。また、県及び管内市町村に対して立枯木の情報を提供するなど、周辺地域での被害木の早期発見に向け、監視体制を強化します。

(2) 被害木の処理

今回、国有林において発見された松くい虫被害木1本は本年中に、マツノザイセンチュウが検出されなかった立枯木27本は念のため被害を伝播するマツノマダラカミキリが羽化脱出する前の平成29年5月末までに津軽森林管理署が処理し、マツノマダラカミキリを駆除する予定です。

今回確認された「松くい虫」被害位置図



問い合わせ先：

林野庁 東北森林管理局 保全課
野生鳥獣管理指導官 林 孝之
Tel：018-836-2024
Fax：018-836-2028
津軽森林管理署
総括森林整備官 小笠原
Tel：0172-27-2800
Fax：0172-27-0733